

仙台市みどりの基本計画2021-2030 中間見直しの検討状況について



百年の杜づくりキャラクター

フォレツビ

建設局百年の杜推進課

目次

0. 仙台市みどりの基本計画2021-2030について

1. 見直しの検討経過

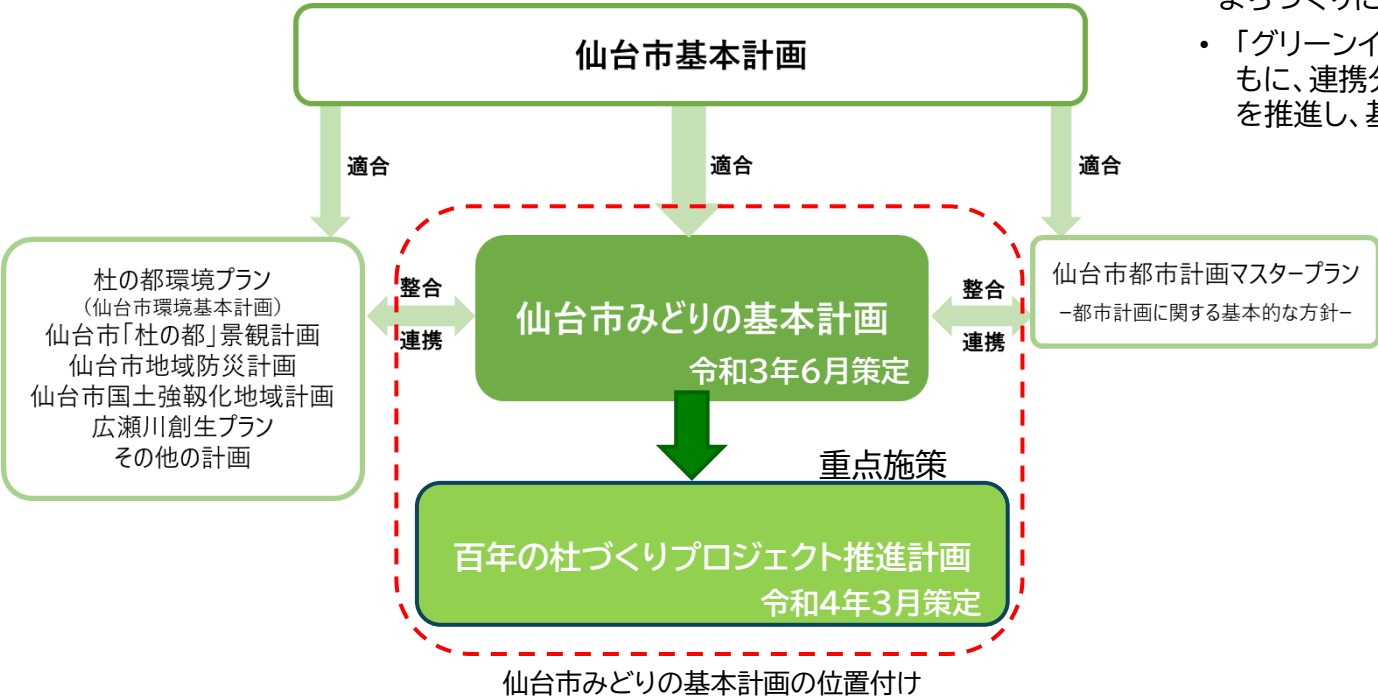
2. 市民意見の聴取状況

3. 中間改定計画(案)について

0. 仙台市みどりの基本計画2021-2030について

みどりの基本計画とは

- ・都市緑地法第4条に定められた緑のまちづくりを推進していくための計画
- ・本市では「杜の都の環境をつくる条例」に緑の基本計画の策定を明記(条例第10条)



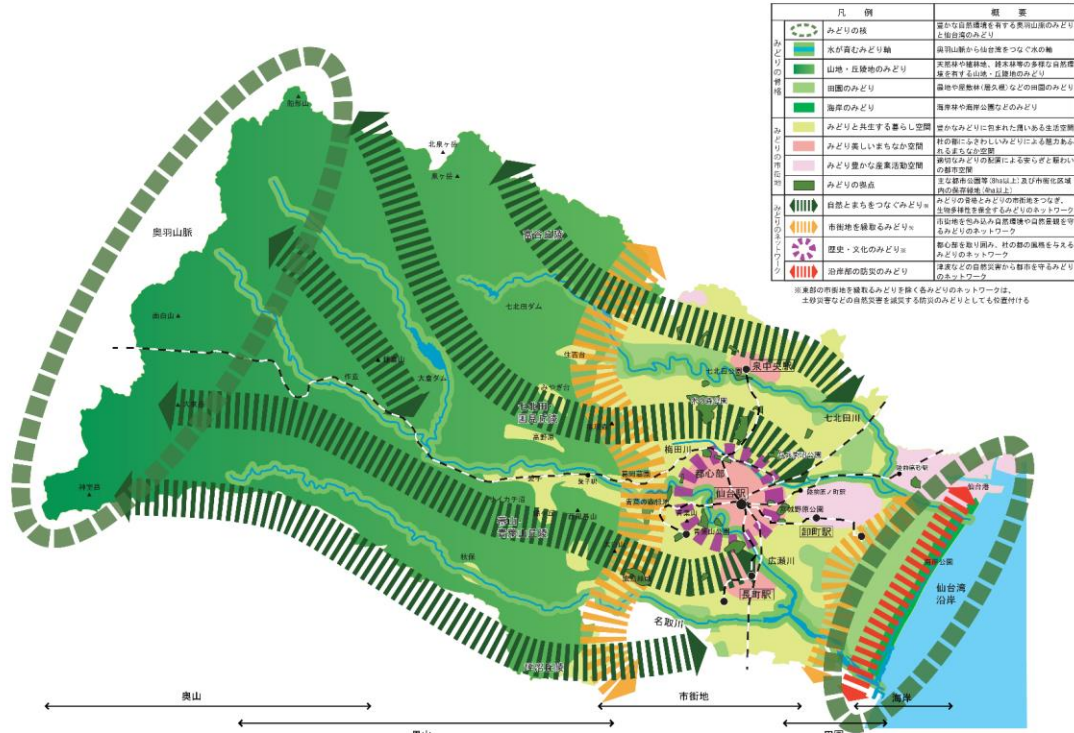
計画期間 ▶▶▶▶▶

令和3年度～令和12年度(10年間)

基本理念

「百年の杜づくりで実現する新たな杜の都～みどりを育むひと、みどりが育むまち～」

- これまで取り組んできた「百年の杜づくり」を継続するとともに、培ってきたみどりの多様な機能をまちづくりに積極的に活用していく
- 「グリーンインフラの推進」を計画の取り組みの姿勢と捉え、関連する行政分野が連携を強めるとともに、連携分野を広げることで、市民や事業者などの多様な主体との協働のもとグリーンインフラを推進し、基本理念を実現する。



みどりの将来像図

0. 仙台市みどりの基本計画2021-2030について

基本方針と百年の杜づくりプロジェクト▶▶▶▶▶

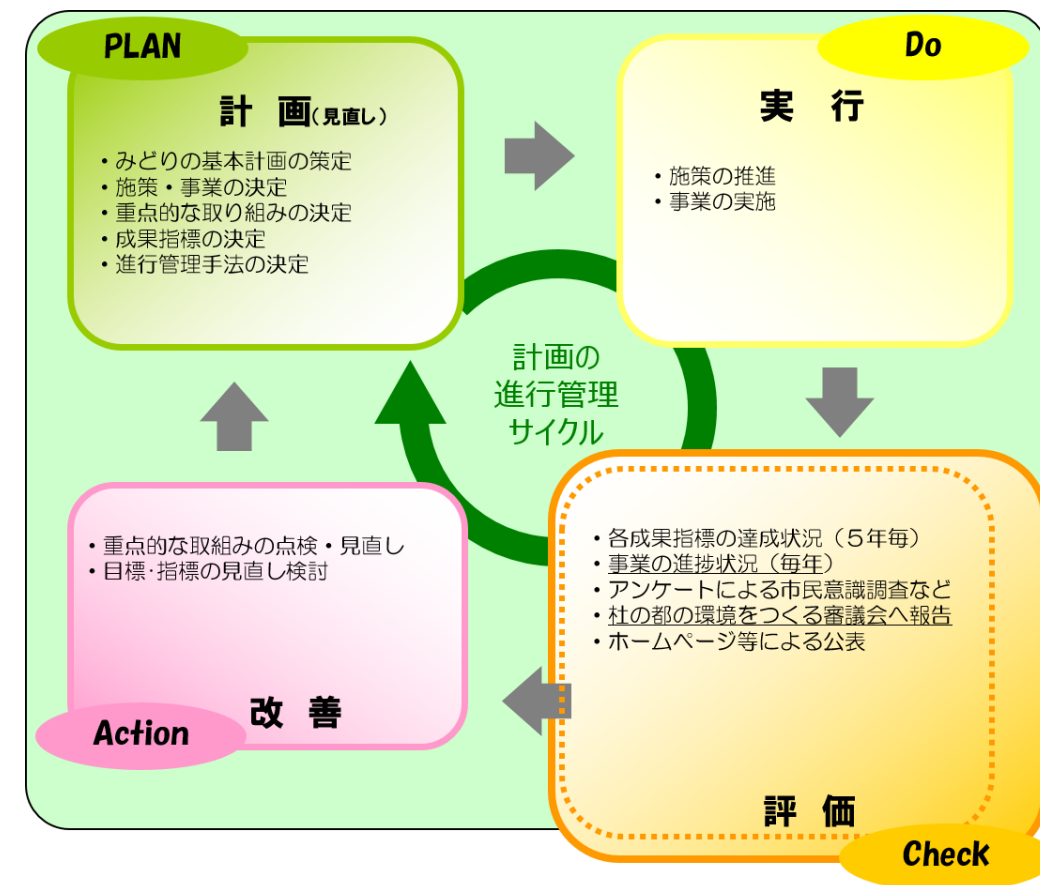
- ・基本理念を実現するため5つの基本方針を設定
- ・基本方針ごとに2つテーマを設け、計画期間内に重点的に実施する重要かつ緊急性の高い分野を「**百年の杜づくりプロジェクト**」として推進。
- ・各プロジェクトには成果目標を設定し、定期的に進行管理を実施



計画の進行管理▶▶▶▶▶

PDCAサイクルを採用し、毎年度各事業の進捗管理を実施するとともに、**中間年度（令和7年度）**には

- ・計画全体の指標 及び 5つの基本方針毎の指標 の達成状況の確認
 - ・各種調査（緑の市民意識調査、緑の分布調査、緑視率調査等）
 - ・審議会委員へのヒアリング
- 等を実施し、**中間見直し**を行う



1. 見直しの検討経過と今後のスケジュール

これまでの検討経過

杜の都の環境をつくる審議会

各種調査・市民意見聴取等

【第98回審議会】(令和7年1月17日)

- 計画の令和5年度までの進行管理を通し、中間見直しに向けた着眼点を整理・共有

緑視率調査(令和6年8月)
緑の分布調査(令和6年9月)
みどりの市民意識調査(令和6年10月～11月)

【第99回審議会】(令和7年6月4日)

- 計画の中間評価、見直しの方向性について確認

◆見直しの方向性

- 上位計画である仙台市基本計画の基本理念「挑戦を続ける、新たな杜の都 ～The Greenest City SENDAI～」を実現させるため、本計画の基本理念、基本方針、取組みの姿勢は継続する。
- みどりの持つ機能を、様々な分野の課題解決に活用し、本市のみどりの価値を高めるため、「ダイバーシティ」、「脱炭素(気候変動)」、「こども」、「観光」の視点を補足・強化し、施策の柱および施策に反映させる。
- ネイチャーポジティブやカーボンニュートラル等に資する都市緑地の計画的保全と、緑地の機能を最大限に発揮させる管理・利活用を進めるための方針等の検討に取り組む。
- 基本方針ごとの指標のうち、既に目標値に到達した指標については目標値を再設定するほか、上半期の実績や市民意識調査などの結果から得られた課題を踏まえ、指標の見直しを行う。

市政モニターアンケート(令和7年7月～8月)
市民ワークショップ(令和7年10月)
こどもいけん広場(令和7年10月～11月)
外国人居住者向けアンケート(令和7年10月～11月)

1. 見直しの検討経過と今後のスケジュール

今後のスケジュール

杜の都の環境をつくる審議会

各種調査・市民意見聴取等

【第102回審議会】(本日)

- ・ 令和6年度までの計画の進行管理について報告(中間評価の補足)
- ・ 市民意見の聴取状況について報告
- ・ 中間改定計画(案)について確認

【第103回審議会】(令和8年5月頃)

- ・ 中間改定計画の最終案について報告

市議会への報告(2月)

見直し計画策定



市民意見聴取の実施概要

項目	内容			
名称	市政モニターアンケート	若者向けワークショップ 「杜の都×ブランディング 若者ワーク ショップ」	こどもいけん広場 「教えてみんなが考える、みどりのあ るくらし・まちづくり」	外国人居住者向けアンケート
目的	中間評価で抽出された課題や、中間見 直しの方向性をふまえ、 <u>みどりの基本計 画の取組に対する評価のほか、気候変 動、生物多様性、観光、こども、ダイバ シティ、市民協働に関する事項につい て意見を聴取</u>	<u>「杜の都のブランディング」をテーマに、</u> 市内で生活する若者のみどりへの関 心度を把握するとともに、様々な関心 度合いを持った若者とみどりとの接 点を探り、 <u>杜の都のみどりを生かした</u> <u>これからのまちづくりについて意見</u> <u>交換を行う</u>	「こども」の視点を強化して施策体系 や計画下半期の重点的な取組みの検 討の参考とするため、 <u>こどもの緑への</u> <u>関心・意識、普段緑と触れ合う場所や</u> <u>内容等について把握する</u>	「観光」および「ダイバーシティ」の視点 を強化・補足した見直し計画とするた め、 <u>外国人居住者から見た仙台のみ</u> <u>どりに関する意識を調査する</u>
対象	令和7年度市政モニター(399名)	市内で生活(通勤・通学・居住)する18 歳～29歳	こどもいけん広場に登録している市 内在住もしくは仙台市内に通っている 小学4年生から18歳までの方(189 名)	市内の外国人受入教育機関に属する 留学生や研究者等 (公益財団法人仙台観光国際協会より 当該教育機関の担当者にアンケートの 周知を依頼)
調査時期	令和7年7月24日～8月8日まで	令和7年10月18日	令和7年10月6日～11月3日	令和7年10月20日～11月14日
回答数・ 参加者数	353名(回収率88.5%)	15名	39名(回収率20.6%) (小学4～6年生:22名、中高生世代: 17名)	23名
回答方法	郵送配布・回収及びインターネットによ る無記名調査式調査	4つのグループに分かれ、3つのテー マについてグループ内で意見交換を 行ったのち、グループ内の意見を発表 する	インターネットによる無記名調査式調 査	せんだいオンライン申請サービスによ るWEB回答

2. 市民意見の聴取状況

市民意見のまとめ

1. ダイバーシティに関する意見

- ・さまざまなちがいを受け入れる社会を実現するために、公園づくりで強化すべき取り組みとしてバリアフリー化が全回答の41.1%を占めたのほか、インクルーシブ遊具の整備が19.8%であった。(参考資料1 P.18～19、)
- ・外国人居住者が公園をより使いやすくなるために、公園内へスポーツ施設、雨や酷暑を凌ぐための環境のほか、公園の利用やイベントの開催に関する情報発信を求める意見等が寄せられた。(参考資料4 P3.～4)

2. 脱炭素(気候変動)

脱炭素・気候変動への対策として、森林や緑地の保全を図る必要があるという意見が全回答の45.6%を占めた。(参考資料1 P.9～P.10)

3. 観光

仙台のみどりが仙台市独自の魅力であると思う割合は高く、他都市の人に自慢できる仙台市のみどりとして定禅寺通が1番選ばれ、次いで青葉山(青葉山公園との合算)、秋保大滝が選ばれた。(参考資料1 P.11～P.13)

外国人居住者も、定禅寺通の街路樹や青葉山等の都心部周辺の緑地を仙台ならではののみどりとして捉えられている。(参考資料4)

4. こども

屋外でこどものあそび環境の充実を特に図るべきである場所として、自宅近くの身近な公園と回答した割合は、全回答の57.8%を占め、身近な公園での遊び環境を充実させるために取り組むべき事項として、全回答の37.7%が「利用ルールの見直しや利用マナーの向上」と回答した。(参考資料1 P.15～P.17)

これからのやってみたい緑に触れ合う活動として、植樹活動や、植物を題材とした絵画・写真撮影、川での釣り・水遊びを選択することの意見が高い割合を占めた。(参考資料3 P.6)

5. その他

若者から、仙台駅をはじめとする都心部(屋内を含む)の緑化や、シンボルとなる緑化を求める意見が多数寄せられたほか、ベンチや自宅、一人になれる空間など、憩うための空間へのみどりの創出を求める意見が寄せられた。(参考資料2 P.18～25)



3. 中間改定計画（案）について

■現行計画の構成と中間改定の方針

序章

「緑の基本方針(国)」を上位計画に位置付けるほか、ダイバーシティ推進指針の考え方を反映する。(中間案 P.3)

・改定の背景と目的
・みどりの基本計画とは
・計画の位置づけ

・計画期間
・計画の構成

第1章 基本理念・緑の将来像・取組みの姿勢

みどりを取り巻く社会情勢等

・本市のみどりを取り巻く社会状況
・みどりに関する新たな視点
・本市のまちづくりに関する動向

・本市のみどりの現状と課題
・中間見直し

計画の中間評価、および中間見直しの方針について追記する。
(中間案 P.41～62)

基本理念

百年の杜づくりで実現する新たな杜の都
～みどりを育むひと、みどりが育むまち～

取組みの姿勢

グリーンインフラの推進

第2章 基本方針・具体的な施策

基本方針

基本方針1:みどりと共生するまち
基本方針2:みどりで選ばれるまち
基本方針3:みどりを誇りとするまち
基本方針4:みどりとともに人が育つまち
基本方針5:みどりを大切にするまち

施策の柱

施策

重点的な取組み
(百年の杜づくりプロジェクト)

区ごとの主な事業・取組み

各方針の事業取組みの一覧

※黄色吹き出しが、中間改定において主に修正する箇所

第3章 計画を推進するうえでの配慮事項

緑地保全に関すること
都市緑化に関すること
都市公園に関すること
街路樹に関すること

第4章 計画の進行管理

推進体制
進行管理

【計画全体の指標】

指標の概要		基準値	目標値
指標1	市域全域の緑被率	78.4%	維持・向上
指標2	都市計画区域内の都市公園等の市民一人当たり面積	18.6㎡	20㎡
指標3	百年の杜づくりに対する市民満足度	69.5%	向上
指標4	身近なみどりに対する市民満足度	34.7%	向上

※このほか基本方針ごとに指標を設定

基本方針ごとの指標について、一部の指標の目標値の上方修正と指標の追加を行なう。
(次のスライド以降で説明)

中間見直しのポイントとしている「ダイバーシティ」、「脱炭素(気候変動)」、「観光」、「こども」視点と、中間評価や市民意見の聴取結果等を踏まえ、各基本方針の重点的な取組みを再構成を行なう。
(次のスライド以降で説明)

3. 中間改定計画（案）について

基本方針1 みどりと共生するまち

中間案
P.79～92

施策の柱

①みどりを生かした防災・減災を進める

②みどりにより、健全な水循環を維持・増進する

③都市のみどりをつなぎ、豊かな生態系を育む

④みどりを資源として循環させる

施策

①ー1)自然災害等を軽減するみどりの保全・育成

①ー2)災害時の避難場所や避難路となるみどりの充実

②ー1)市街地等の浸透力・保水力の向上

②ー2)樹林地・農地の適正な保全

②ー3)河川環境の保全

③ー1)生物の生息地となる樹林地や公園・緑地、農地等の保全・充実

③ー2)郷土種を利用した緑化、エコロジカルネットワークの形成

④ー1)みどりの有効活用、環境負荷の小さい資材の活用

【改定のポイント】
・ 二酸化炭素吸収源の確保やヒートアイランド現象の緩和に寄与する事業を重点的な取組みに追加するほか、ネイチャーポジティブに関する取組みを強化する。

重点的な取組み

I. みどりによる気候変動対策の推進
市街地の貴重な緑地の保全や森林整備、公園や道路、建物敷地などへの雨庭の整備等に取り組み、二酸化炭素吸収源の確保を図るとともに、浸水被害やヒートアイランド現象の緩和等を図ります。

中間案
P.85～86

- ・ 特別緑地保全地区の指定推進
- ・ 市有林造林育林事業
- ・ 民有林(私有林)振興事業
- ・ 法令に基づく各種制度等による農地の適正な保全
- ・ 計画的な街路樹管理の推進
- ・ 公園や道路における透水性舗装や雨庭等の整備
- ・ グリーンインフラ推進助成事業
- ・ (仮称)戦略的な緑地保全
- ・ 海岸防災林におけるJ-クレジットの運用
- ・ 建築物等緑化ガイドラインの運用

II. 生態系を育むみどりの保全・創出
市街地の貴重な緑地の保全や森林整備、自然共生サイトの認定の支援などにより、ネイチャーポジティブを推進し、生態系サービスの基盤を充実させます。

中間案
P.87～89

- ・ 特別緑地保全地区の指定推進(再掲)
- ・ 市有林造林育林事業(再掲)
- ・ 民有林(私有林)振興事業(再掲)
- ・ 法令に基づく各種制度等による農地の適正な保全(再掲)
- ・ (仮称)戦略的な緑地保全(再掲)
- ・ 公園における樹林地管理
- ・ ふるさとの杜再生プロジェクト
- ・ 郷土種による緑化の推進
- ・ 河川改修事業(多自然河川づくり)
- ・ 生物多様性保全推進事業

3. 中間改定計画（案）について

基本方針1 みどりと共生するまち

重点的な取組みを構成する主な事業・取組みの概要

I. みどりによる気候変動対策の推進

【新規】(仮称)戦略的な緑地保全

緑地の自然的特性や社会・レクリエーション的特性等の客観的評価により、緑地の価値を把握・可視化し、保全の優先順位等を検討し、保全方針・管理方針を作成します。

また、既存の特別緑地保全地区の一部について、先行的に機能維持増進事業を実施します。



特別緑地保全地区内での択伐による機能維持増進

II. 生態系を育むみどりの保全・創出

【見直し継続】生物多様性保全推進事業

多様な主体と連携しながら自然や生きものの魅力や大切さについて学ぶ機会の充実を図ることで、生物多様性の保全や環境配慮行動の促進を図ります。

また、多様な主体との協働や、地域生物多様性増進法に基づく活動計画（自然共生サイト）の認定取得支援等により、ネイチャーポジティブの取り組みを推進します。



自然共生サイトに認定された仙台市水道局青下水源涵養林



3. 中間改定計画（案）について

基本方針2 みどりで選ばれるまち

中間案
P.93～100

施策の柱

⑤みどりで人、企業を惹きつける

⑤ー1)都心部のシンボル並木の磨き上げ
による都市ブランドの向上

⑤ー2)老朽化したビルの建替えなどを契
機とした質の高い緑化空間の創出

⑥みんながみどりを享受できるまちをつ
くる

⑥ー1)あらゆる人々が集い、楽しみ、活
動できるような公園、緑地の整備

⑥ー2)人々の交流を促すみどりの空間形
成

【改定のポイント】

- 青葉山エリアでのにぎわいづくりや泉中央エリアの活性化に向けた事業を新たに重点的な取組みに位置付ける。

施策

重点的な取組み

I. 都心部・広域拠点の活力・にぎわいの創出
街路樹のある公共空間の整備や利活用, エリアマネジメントに活用される公園づ
くりの推進等により, ビジネスの機会創出やまちのにぎわいを促進します。

- 青葉山公園魅力向上事業
- 西公園再整備事業
- 勾当台公園再整備事業
- 官民連携による公園の活性化
- 定禅寺通・青葉通魅力アップ事業
- 街路樹のある公共空間の活用
- 広瀬川(大橋周辺)水辺利活用事業
- 七北田公園活性化事業
- 仙台スタジアム民間活力導入事業

中間案
P.96～97

II. 都心部の建築物等における質の高い緑化の創出
建築物等緑化ガイドラインの運用や建築物等緑化認定制度の導入により質の高
い緑化を促進し, 都市ブランドや建築物等の価値の向上を図ります。

- 建築物等緑化ガイドラインの運用
- 市役所等の大型公共建築物でのモデルとなる緑化の実施
- 建築物等緑化認定制度の運用
- グリーンインフラ推進助成事業

中間案
P.98～99

3. 中間改定計画（案）について

基本方針2 みどりで選ばれるまち

重点的な取組みを構成する主な事業・取組みの概要

1. 都心部・広域拠点の活力・にぎわいの創出

【新規】青葉山公園魅力向上事業

青葉山エリアの“入り口”ともいべき立地特性を生かしながら、周辺施設等の関係団体、市民活動団体や民間事業者等の多様なパートナーと連携し、青葉山エリアの交流人口拡大を含む利用促進・市民参画業務に取り組むほか、竜ノ口地区の長期的な環境改善について検討し、魅力向上を図ります。



青葉山公園追廻地区で実施されるナイトコンテンツ

【新規】広瀬川(大橋周辺)水辺利活用事業

広瀬川周辺で進行するプロジェクトとの連携や情報の共有を行いながら、青葉山エリアにおける新たな魅力の創出や都心部との回遊性向上を図り、同エリアのにぎわいを創出していくため、広瀬川における水辺利活用の推進を図ります。



広瀬川(大橋周辺)水辺利活用の
イメージ(西公園水辺エリア)

3. 中間改定計画（案）について

基本方針3 みどりを誇りとするまち

中間案
P.101～109

施策の柱

⑦杜の都にふさわしいみどりを充実させる

⑦ー1)市街地を囲む緑地や丘陵部の保全

⑦ー2)風格ある杜の都の景観づくり

⑧歴史と文化の香る みどりを守り、継承する

⑧ー1)歴史・文化と調和するみどりの創出・充実

⑧ー2)歴史あるみどりの保全と活用

【改定のポイント】

- みどりにおける「観光」に関する取組みを強化するため、仙台のみどりを来訪者向けの観光資源として活用するための事業を盛り込む。

施策

重点的な取組み

I. 街路樹による風格ある景観づくり

街路樹の整備や、計画的な街路樹管理の実施などにより、歩いてみたくなる、美しい街路樹空間を創出します。

- 緑化重点地区内の街路樹充実
- 計画的な街路樹管理の推進
- 街路樹管理技術の向上

中間案
P.106～107

II. 仙台ならではのみどりの活用

青葉山エリアのみどりや、秋保大滝、沿岸部の自然環境などを観光資源として磨き上げ、活用することで、市民に地域への誇りと愛着を醸成するとともに、交流人口の拡大を促します。

- 仙台ならではのみどりを活用したイベントの開催
- 貞山運河の利活用事業
- 海岸公園(藤塚地区)整備事業
- 屋敷林(居久根)の保全と活用
- 仙台城跡整備事業
- 青葉山公園魅力向上事業(再掲)
- 広瀬川(大橋周辺)水辺利活用事業(再掲)
- 秋保大滝植物園魅力向上事業
- アドベンチャーツーリズム
- (仮称)上杉一丁目南緑地整備事業

中間案
P.107～108

3. 中間改定計画（案）について

基本方針3 みどりを誇りとするまち

重点的な取組みを構成する主な取組みの概要

II. 仙台ならではのみどりの活用

【海岸公園(藤塚地区)整備事業】

海岸公園(藤塚地区)において、海岸防災林の再現、ラプラス公園、避難の丘等の整備を行います。また、かわまちづくり事業による親水護岸や側帯部の整備により貞山運河、干潟や湿地の貴重な自然環境を活用したイベント開催など民間事業者と連携し一体となった賑わいの創出、海浜エリアの回遊性の向上を図ります。



海岸公園藤塚地区イメージバース

【見直し継続】秋保大滝植物園魅力向上事業

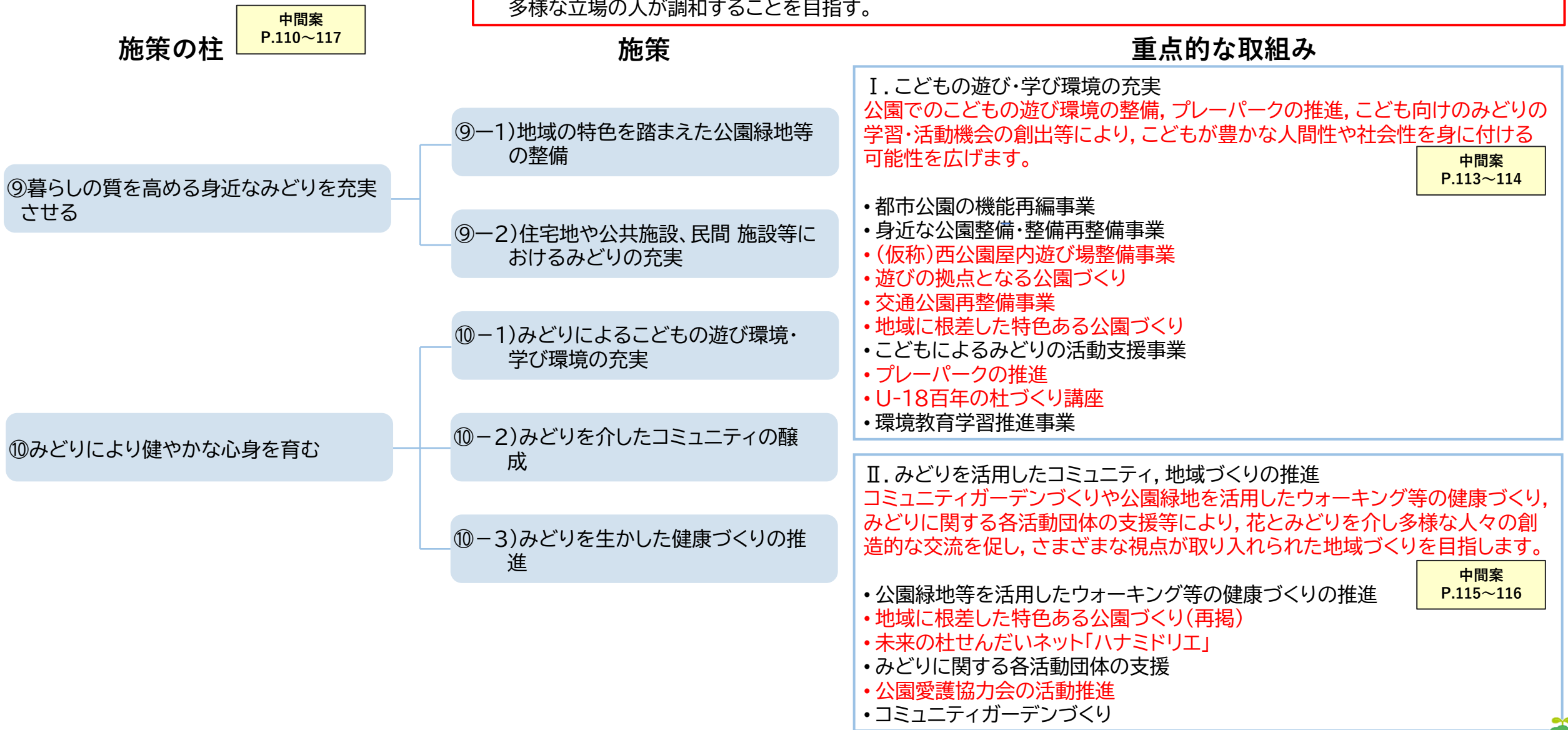
秋保大滝植物園において、展示内容の充実化や老朽化した施設の更新、園内のバリアフリー化等、集客力の向上や滞在環境の改善を行うことで秋保大滝エリアの魅力向上を図ります。



秋保大滝植物園でのマルシェの開催

3. 中間改定計画（案）について

基本方針4 みどりとともに人が育つまち



3. 中間改定計画（案）について

基本方針4 みどりとともに人が育つまち

重点的な取組みを構成する主な事業・取組みの概要

I. こどもの遊び・学び環境の充実

【新規】遊びの拠点となる公園づくり

向山中央公園、台原森林公園等において、それぞれに特色のある遊びの拠点となるような公園づくりを行い、屋外遊び環境の充実を図ります。



遊びの拠点となる公園づくりを予定している向山中央公園

II. みどりを活用したコミュニティ，地域づくりの推進

【新規】未来の杜せんだいネット「ハナミドリエ」

フェア会場の協働で整備した花壇の一部を市民協働で継続するほか、次世代の担い手の育成や、民間事業者や地域団体等との連携による枠組みの運営に取り組めます。担い手が必要とする情報の提供やアドバイス、支援する事業者等とのマッチングに向けたコーディネート等を行うなど、担い手に寄り添い、伴走型での支援を行います。



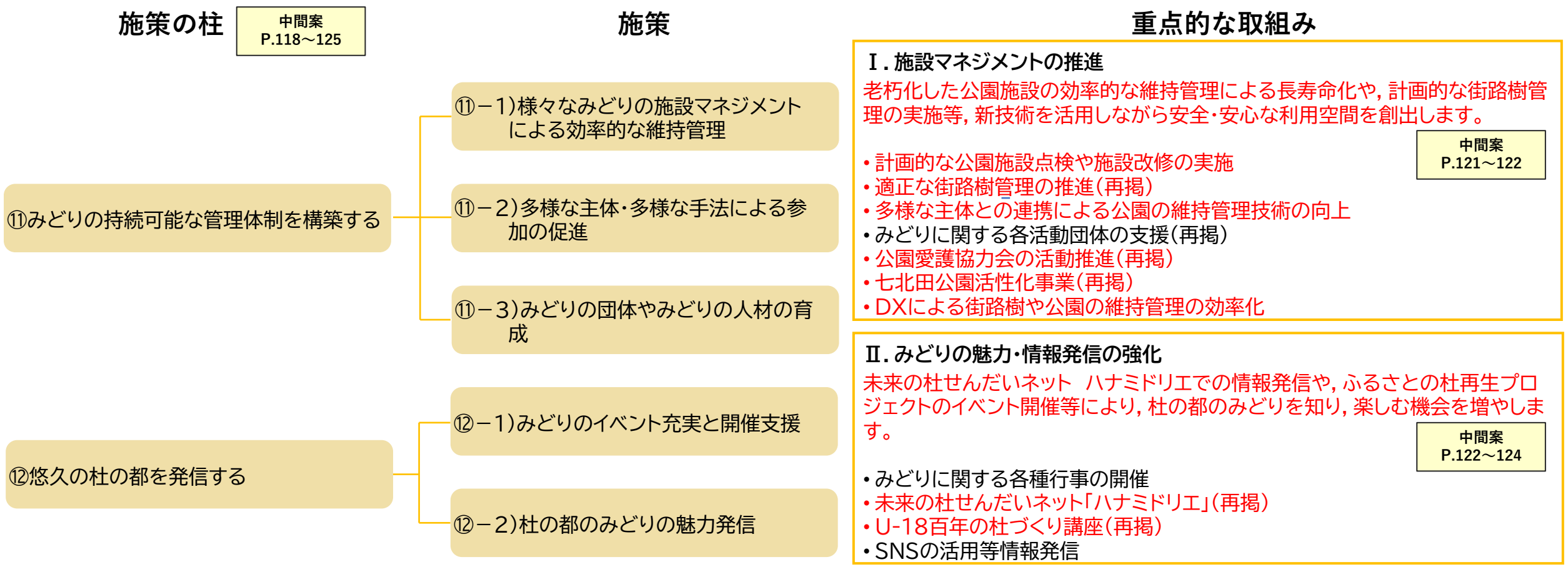
コミュニティ花壇における園芸作業からグループ運営まで学べる講座「ハナミドリエ・スクール」(左)と、多様な主体が参加し交流する機会となるフェアレガシー花壇での植え替え作業(右)

3. 中間改定計画（案）について

基本方針5 みどりを大切にするまち

【改定のポイント】

- ・ 計画上半期の取組みの進捗等を踏まえ、重点的な取組みに位置付ける事業の内容を見直し、再構成する。



3. 中間改定計画（案）について

基本方針5 みどりを大切にするまち

重点的な取組みを構成する主な事業・取組みの概要

1. 施設マネジメントの推進

【見直し継続】七北田公園活性化事業

七北田公園管理運営協議会での魅力向上や賑わい創出事業の実施や民間活力の導入検討、イベントがしやすいような施設改修や老朽化した施設の更新等を行い、利活用を推進します。



七北田公園活性化協議会により設置された飲食施設(NANA+ICHI カフェ)

【新規】(仮称)U-18百年の杜づくり講座

将来のみどりの担い手となるこどもを対象に、百年の杜づくりに関する学校での出前講座を行うほか、既存のWEBコンテンツ「キッズ百年の杜」を改修し活用すること等により、「杜の都」のみどりへの愛着の醸成を図ります。



市内小学校でのみどりに関する講座(左)と、市HPサイト「キッズ百年の杜」(右)

3. 中間改定計画（案）について

指標の見直し

■計画全体の指標
変更なし(スライド番号8に指標項目・目標値等を掲載)

■5つの基本方針ごとの指標

指 標 の 概 要		基準値 (R1)	見直し前 目標値 (R12)	R6年度までの 実績	見直し後 目標値 (R12)	中間案 P.196	
方針1	公園緑地等における浸透施設整備により ①雨水流出抑制が図られた面積 ②確保される植栽地以外の雨水浸透能力	①－ ②－	①87,000㎡ ②－	①81,809㎡ ②993㎡/hr	①145,000㎡ ②1,900㎡/hr		目標値を上方修正するとともに、「雨水浸透能力」にかかる指標を追加する。
	市街地の緑被率	－	－	29.9%	維持向上		「脱炭素(気候変動)」の視点を強化することに伴い、ヒートアイランド現象緩和の指標として「市街地の緑被率」を追加する。
	身近な生きものの認識度(9種)	ツバメ75.2% ほか	全ての種で 現在より向上	3種類で向上	全ての種で 現在より向上		
	自然共生サイトの認定数 (認定された自然共生サイトの数)	－	－	4箇所	8年間※2で 15箇所		ネイチャーポジティブの実現を目指すことにあわせ、「自然共生サイトの認定数」を追加する。
方針2	新たに民間活力を導入する公園施設数	－	10年間で 4箇所	2箇所	10年間で 7箇所		令和12年度までの民間活力の導入の見込みを踏まえ目標値を修正する。
	仙台都心部緑化重点地区における ①緑被率・②平均緑視率	①14.2% ②31.0%※1	①14.3%以上 ②33%	①11.7% ②30.1%	①14.3%以上 ②33%		
方針3	街路樹の再生(高木更新完了路線数)	－	10路線	10路線	70路線		街路樹更新計画(高木)の令和12年度までの更新完了予定路線数に基づき、目標値を修正する。
	仙台ならではのみどりを活用した(名木・古木めぐりなど)イベント開催件数	10回/年度	10回/年度以上	10回/年度以上を毎年達成	10回/年度以上		
方針4	身近な公園の役割が「こどもを遊ばせる場所」と回答する市民の割合の増加(みどりの市民意識調査)	62.6%	現在より向上	63.8%	現在より向上		
	コミュニティを育むみどりの市民活動団体の結成数	1,358団体	1,460団体	1,408団体	1,460団体		
方針5	公園施設改修件数	－	延べ1,200公園	延べ2,102公園	延べ4,100公園		既に実績が目標値に到達していることから、目標値を上方修正する。
	ふるさとの杜再生プロジェクトのイベント参加者数	－	延べ2,000人	延べ2,113人	延べ5,000人		

※1 令和2年度実績 ※2 自然共生サイトの制度が令和5年度から開始されたことから8年間とした